

修徳橋

令和6年2月20日 No.25



市川三郷町立六郷小学校 学校だより

市川三郷町岩間 2917

電話：0556-32-2004

http://www.rokugo-sho.ed.jp/

発行・文責 校長 上田寛二

教職員による学校評価

六郷小教職員が、1学期末と2学期末に学校評価という自己評価を行った結果です。良いところは更に伸ばし、課題は改善策を講じ、3学期あるいは来年度に生かしていこうとしていることをご理解いただければ幸いです。

評価…A（達成できた） B（概ね達成できた） C（改善の必要あり） D（達成できていない）

表の右側の数字は教職員の人数です。表の中側の評価欄は、数値処理をした数値と評価です。

令和5年度2学期自己評価 職員集計（上段1学期/下段2学期）					六郷小学校			
	具体的な評価内容(指標)	評価	得点	評価	A	B	C	D
1	①よく考え、真剣に学ぶ子どもに育っている。	B	55	3.24	4	13	0	0
		B	55	3.24	4	13	0	0
2	②思いやりがあり、自他を大切にできる子どもに育っている。	B	56	3.29	5	12	0	0
		B	54	3.18	3	14	0	0
3	③健康で、明るく、たくましい子どもに育っている。	A	58	3.41	8	8	1	0
		A	58	3.41	8	8	1	0
4	④進んで働き、責任をもってやりぬく児童に育っている。	B	53	3.12	4	11	2	0
		B	56	3.29	5	12	0	0
5	教育課程の適切な運営のために、授業時数の確保・指導体制の整備等ができています。	A	62	3.65	11	6	0	0
		A	64	3.76	13	4	0	0
6	日課表や週日程は、適切に生まれ、有効に機能している。	A	61	3.59	11	5	1	0
		A	66	3.88	15	2	0	0
7	職員会議は、情報交換と課題検討の場として機能的・効率的に行われている。	A	60	3.53	10	6	1	0
		A	62	3.65	11	6	0	0
8	職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。	A	60	3.53	9	8	0	0
		A	61	3.59	10	7	0	0
9	職員間の相互理解が十分になされ、気軽に相談し合える職場の人間関係ができています。	A	60	3.53	10	6	1	0
		A	63	3.71	13	3	1	0
10	防犯・防災など児童や職員の安全を守るための取組が計画的に行われている。	A	62	3.65	11	6	0	0
		A	64	3.76	13	4	0	0
11	校舎内外の施設設備を定期的に点検し、結果を処理(整備・保全)している。	A	63	3.71	12	5	0	0
		A	63	3.71	12	5	0	0
12	校内研究会は、目標の達成に向けて計画的に有意義に進められている。	A	63	3.71	12	5	0	0
		A	62	3.65	11	6	0	0
13	特別支援教育推進のための体制が整えられ、共通理解の上児童の指導にあたっている。	A	60	3.53	10	6	1	0
		A	63	3.71	12	5	0	0
14	勤務時間や年休等、権利を行使しやすい体制になっている。	A	62	3.65	12	4	1	0
		A	63	3.71	12	5	0	0
15	教材教具の工夫や個に応じた指導に努め、基礎・基本の定着に努めている。	A	49	3.50	8	5	1	0
		A	51	3.64	9	5	0	0
16	言語活動を生かし、学び合いの授業を仕組み、主体的に取り組む児童の育成に努めている	B	45	3.21	4	9	1	0
		A	48	3.43	7	6	1	0
17	体験的な活動や問題解決的な学習を取り入れ、学習意欲の向上に努めている。	B	47	3.36	5	9	0	0
		A	51	3.64	9	5	0	0
18	宿題や家庭学習に対する指導(学習習慣づくり)を継続的に行っている。	A	50	3.57	8	6	0	0
		A	51	3.64	9	5	0	0
19	道徳の時間における指導を工夫し、道徳的実践力の育成に努めている。	B	44	3.14	3	10	1	0
		A	49	3.50	7	7	0	0
20	体育の時間において、運動好きな児童の育成・基礎体力の向上に努めている。	A	51	3.64	9	5	0	0
		A	52	3.71	10	4	0	0

21	保健や食育の指導など、健康教育の充実に努めている。	A	49	3.50	8	5	1	0
		A	53	3.53	8	7	0	0
22	読書好きな児童を育てるため、積極的に読書活動に取り組むように努めている。	A	53	3.53	8	7	0	0
		B	52	3.25	4	12	0	0
23	児童理解と心の居場所づくりに努め、存在感や価値を認め、個性の伸長を図っている。	A	60	3.53	9	8	0	0
		A	61	3.59	10	7	0	0
24	基本的な生活習慣の形成と学習規律の確立に努めている。	A	58	3.41	8	8	1	0
		A	58	3.41	8	8	1	0
25	教職員・児童ともに、挨拶運動に積極的に取り組んでいる。	A	61	3.59	10	7	0	0
		A	62	3.65	11	6	0	0
26	廊下の歩行、スリッパの整頓等、決まりを意識した規律ある生活ができています。	B	52	3.06	4	10	3	0
		B	51	3.00	2	13	2	0
27	児童会活動では、児童が主体的に活動できるよう考慮・工夫されている。	A	60	3.53	9	8	0	0
		A	61	3.59	10	7	0	0
28	異年齢集団等の活動において、社会性やコミュニケーション力等の育成に努めている	B	55	3.24	5	11	1	0
		B	57	3.35	6	11	0	0
29	生徒指導に関して、職員の共通理解が図られ、意思統一して指導を行っている。	A	62	3.65	12	4	1	0
		A	62	3.65	11	6	0	0
30	いじめ問題の防止のために、早期発見・早期対応に学校全体として取り組んでいる。	A	61	3.59	11	5	1	0
		A	64	3.76	13	4	0	0
31	教育活動に地域の人材や施設を有効活用し、地域の教育力を生かすよう努めている。	A	59	3.47	10	5	2	0
		A	59	3.47	9	7	1	0
32	保護者との良好な関係を築き、児童の成長のために円滑な連携を図っている。	A	59	3.47	8	9	0	0
		A	61	3.59	10	7	0	0
33	保護者や地域に対して、学校行事や活動の様子について情報を提供・発信している。	A	60	3.53	10	6	1	0
		A	60	3.53	10	7	0	0
34	授業参観日や学校開放日等において、学校教育への理解を深められるよう努めている	A	61	3.59	10	7	0	0
		A	63	3.71	12	5	0	0
35	児童の安全確保が図られるように、保護者や地域・関係機関との連携を図っている。	A	61	3.59	10	7	0	0
		A	61	3.59	10	7	0	0

《3学期及び来年度の指導重点》…学校評価を生かして改善していくこと

I 学校教育目標の実現に関して(01～04)

・コロナが5類になり、児童同士の関わりが増えてきたため、対応する課題が増えました。情報共有し、改善できるところは先延ばしにせず、学校全体で対応していきます。

II 学校運営・組織について(05～14)

・全体的に円滑に教育活動が進められていると言えます。コロナで縮小されていた学校行事等が戻りつつあるため、昨年度なかった行事の確認、それに伴い時期を考えた提案が必要になっています。変更点があるときは声を上げながら取り組んでいきます。

III 学習指導について(15～22)

・1学期に比べ、A評価が増え、適切な学習指導が行われていると言えます。ICT活用が1学期に比べ進み、さまざまな実践を行ってきました。読書ボランティアや教職員による読み聞かせなどの推進活動が行われている反面、休み時間などの日常的な読書の時間確保が求められます。週に1度は読書タイムを設けるとか、雨の日の休み時間は読書をする等、工夫して取り組んでいきます。

IV 生徒指導について(23～30)

・適切な生徒指導が行われていると言えますが、26と28の評価は変わらずBでした。児童のコミュニケーション力は学級だけでなく、たてわり班での異年齢集団の中での育成が必要です。人に対しての接し方や学習規律をしっかりと整えていくことが大切です。児童への支援については、担任だけでなく、複数人や全体で対応するスタンスで体制を整えます。児童の成長を様々な角度からの視点で見守っていきます。

V 保護者・地域との連携について(31～35)

・保護者や地域と円滑な連携が図られていると言えます。学校開放日や放課後学習会等、実施方法の確認・工夫が必要です。学校・家庭・地域が協力して子どもの成長を支えていけるよう「保護者の声を聞く」「地域の声を聞く」「学校や教職員の思いや考えを伝える」、そして「児童のためにできることは何か話し合う」を続けていきます。